

# 東海北陸

Branch Report Vol.76



JR名古屋駅東口にあるモニュメント「飛翔」

TOUKAI-HOKURIKU

2022. August

コストがわかれば 建築が見える！



公益社団法人 日本建築積算協会 東海北陸支部

The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ) from Toukai-hokuriku Branch  
<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階  
☎(052) 264-0661(代) FAX(052) 264-0662

ご挨拶	副支部長 高島 義昭	1
2022 年度 東海北陸支部 定時総会報告		2
2022 年度 事業計画		3
事業計画委員会	事業計画委員会 委員長 礪谷 将紀	3
評価評定委員会	評価評定委員会 委員長 中川 英人	4
データベース委員会	データベース委員会 委員長 岩田 清逸	4
講習委員会	講習委員会 委員長 勝野 徹	5
資格制度委員会	資格制度委員会 委員長 古川 元	6
新役員 ご挨拶	株式会社フジタ名古屋支店 建築積算部 浅枝 亮	7
新役員 ご挨拶	株式会社大林組名古屋支店 見積部 増田 裕介	7
新役員 ご挨拶	株式会社 大建設 尾藤 貴志	8
新役員 ご挨拶	(株) 二葉積算 名古屋支社 西部 明宏	8
就業体験	名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 岡 唯那	9
就業体験	名古屋市立工芸高等学校 建築システム科 2年 天草 夏海	9
積もる話 その18	支部会員 西田 彰	10
積算の誤解 あるある		11
働き方改革ワーキンググループ	働き方改革ワーキンググループ 岩田 清逸	12
暑中お見舞い申し上げます		12
賛助会員名簿・建築積算士補教育認定校		15
株式会社 大成出版社		16
JAQS 一般社団法人 日本建築積算事務所協会 東海支部		17
TOMOデータサービス株式会社		18
編集後記		19
協栄産業株式会社		



## ご挨拶



(公社)日本建築積算協会  
東海北陸支部

副支部長 高島 義昭

(有)高島建築積算事務所

6月末に東海北陸地方が梅雨明けし、例年より早い夏が到来しました。会員の皆様におかれましては体調管理には十分注意され仕事に従事していただきたいと思っております。この2年半コロナ禍からの需要回復に2月ロシアのウクライナ侵攻が重なり建設資材の値上り、物流の混乱、サプライチェーン<sup>※</sup>……と言葉で言い表せないほど多くの問題が建築生産の現場でも起きています。

北陸地域も例外ではありません。こと積算に関して言えば数量積算のあとの値入において、単価の作成時期による相違が大変な問題です。

このような社会情勢の中で各種資材・製品の納入等工期にも影響し複雑な問題になっています。今更ながら設計と積算の関係での調整が大変重要だと感じています。当協会資格であるコスト管理士も今の社会情勢の中で重要な立位置にあると感じつつ、もっと社会に認知されることを願ってやみません。

さて北陸支所についての活動について

(公)日本積算協会東海北陸支部 北陸部会として平成15年より30名の会員にてスタートし平成27年より北陸支所に改組して現在正会員数96名(富山27名、石川53名、福井16名)です。建築積算士は3県で224名この北陸地域で活躍されています。また石川県の互礼会に平成30年1月より参加させていただいています。

ここ2年半はコロナの影響で活動を控えていますが、そろそろウイズコロナ対面講習へ

例年4月～9月に『初めての建築積算』数量積算の基礎編、10月～12月に『建築積算ガイドブック』実務数量拾いの講習編、その他実務講習会(テーマを決めて)、会員相互の情報交換、親睦を年に2回程行ってきました。

今後コロナ感染等の状況を注視しながら平年の活動に移りたく準備しています。また地元ニーズに即したテーマでの講習を行いたいと考えています。会員皆様のご支援御協力をお願いします。

話は変わりますが日本の貨幣制度について、積算業務として日頃値入作業をしている立場として少し考えたいと思います。

江戸時代は金貨(定量貨幣)1両小判=二分金×2枚=一分金×4枚=二朱金×8枚=一朱金×16枚、銀貨は秤量貨幣で単位が貫、匁、分、厘、毛としていました。江戸中期に係数貨幣になり金1両=丁銀60匁=銀5匁×12枚=一分銀×4枚=二朱銀×8枚=一朱銀×16枚。銭貨は銀に似て貫、匁ですが匁のかわりに文を使い一貫文=1000文。金1両=4000文～10000文の変動相場で、銭勘定するときいつも金一両は銭いくらと相場を確認しないと計算できませんでした。また銭には穴が開いているので紐を通し束ねて取引する(百文緡=96文)があり、これが江戸時代の銭勘定を難しくしています。江戸初期は京都より西は銀遣いに対して江戸より東北は金遣いの経済圏でしたが江戸中期頃からは金一両が銀60匁に定着し大坂と江戸の経済がだいたい同じように動くようになり日本の経済圏が統一されました。以上のことより江戸時代は四進法による計算で大変複雑な計算をもとに経済が動いています。

1871年(明治4年)明治政府により四進法で計算された江戸時代の貨幣制度を改め十進法を採用することとなりました。金1.5g=1円=1両,1円=100銭,1銭=10厘

1953年(昭和28年)少額貨幣の整理に関する法律公布により1円未満の補助貨通用禁止となり現在に至っています。昭和28年まで寛永通宝も通用してびっくりします。

今の社会制度での積算値入がスムーズになったのは先人の知恵と努力によるもので私たちが従事している積算という分野も同じように考えさせられます。

※サプライチェーンとは、調達、製造、販売、消費などの一連の流れ

## 2022年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日時 2022年4月28日(金)  
17:00～17:45
2. 会場 昭和ビル9階 大ホール  
(名古屋市中区栄4-3-26)
3. 出席者 本人出席者13名 委任状253通  
計266名
4. 議事

## 一、支部長挨拶

本日、2022年度の総会を無事に迎えることができました。昨年度に続きコロナ禍の中での開催となり参加人数を制限しての開催となりました。会員皆様より沢山のご意見を頂きたい所ありますが、残念でなりません。本日の総会では、昨年度の事業と決算のご承認並びに役員補選のご承認をいただきたいと思っております。また本年度の事業計画と収支予算を報告いたします。

昨年度も、非常事態宣言が発出されましたが、Webを駆使しての講習会、委員会活動を地道に行いました。特筆すべき活動としましては、積算学校を全支部が分担で講師を務め100名もの卒業生が巣立った事。支部では適正な積算時間確保を後押しするツールを作成しました。また評価評定の依頼も3物件頂き成果物に対して高い評価を頂きました。まさに協会が掲げている人材育成事業・調査研究・評価評定の三本柱が実践できました。本年度も引き続き支部会員皆様の有益となる活動を展開してまいります。どうぞ支部運営のために今まで以上のご支援、ご鞭撻を頂きたく宜しくお願い致します。

## 一、定足数の確認

本日の総会の本人出席者13名、委任状による出席者数253名、合計266名です。2022年4月1日現在の議決権を持つ正会員数407名に対し、過半数以上の出席がありますので本総会に必要な定足数を満たしていることを報告。

## 一、議案審議

審議の結果、議案はすべて承認されました。

第1号議案 2021年度事業報告承認の件

第2号議案 2021年度収支決算及び監査報告承認の件

第3号議案 2022年度支部役員選任候補者承認の件

報告事項1 2022年度事業計画に関する件

報告事項2 2022年度収支予算に関する件

## 収入の部

科目	予算	決算	差異
人材育成及び認定事業	1,760,000	483,350	1,276,650
社会人教育収入	1,760,000	483,350	1,276,650
調査研究及び情報発信事業	940,000	569,638	370,362
会誌発行収入	340,000	350,000	-10,000
書籍出版収入	600,000	219,638	380,362
評価評定及び相談事業	500,000	3,410,000	-2,910,000
第三者評定受託収入	500,000	3,410,000	-2,910,000
その他	10,000	5,770	-4,770
支部運営金	7,323,000	7,272,000	51,000
一般運営金収益	7,323,000	7,272,000	51,000
当期収入計	10,524,000	11,740,758	-1,216,758
前期繰越収支差額	7,827,201	7,827,201	0
収入合計	18,351,201	19,567,959	-1,216,000

## 支出の部

科目	予算	決算	差異
事業費	3,964,000	4,884,402	-920,402
人材育成事業費	2,144,000	1,462,205	681,795
調査研究事業費	1,563,000	694,197	868,803
評価評定事業支出	257,000	2,728,000	-2,701,000
管理費	6,560,000	6,549,586	10,414
当期支出計	10,524,000	11,433,988	-909,988
当期収支差額	0	306,770	-306,770
当期繰越収支差額	7,827,201	8,133,971	-306,770

## 2022年度支部役員補選

西部 明宏 (株)二葉積算 名古屋支社  
増田 裕介 (株)大林組 名古屋支店  
浅枝 亮 (株)フジタ 名古屋支店  
尾藤 貴志 (株)大建設計 名古屋事務所



## 2022 年度事業計画

## 事業計画委員会

事業計画委員会

委員長 硯谷 将紀

### I. 支部事業活動方針

新型コロナウイルス感染症により社会環境が大きく変わりました。今後穏やかに収まるとしてもWEBを活用した支部事業活動を展開せざるを得ない状況が続きます。

幸いにも積算資格者は若干ではあるものの若返りが図られています。この業界で希望を持って活躍出来る後継者を育てていく事が当協会の使命と考え、以下の施策を粛々と進めてまいります。

- 1) 積算関連資格の重要性の社会的認知と活用についての周辺整備
  - ・本部と連携して積算資格の必要な業界へも積極的にPR活動を展開する。
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
  - ・支部のホームページを閲覧してもらえる様な魅力ある誘導活動を実施する。
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
  - ・地方の職場や家庭であってもWEBを活用することで会員サービスが平等に行き渡る様にする。
- 4) 地域での若手人材の育成と資格者への新しい知識修得支援
  - ・引き続き講習会が対面でもWEBでも開催できるようにプログラムを充実させる。
  - ・どこにいてもどんな時間帯であろうとも知識が吸収できる様に支援する。例えばワンポイントレッスン（1回10分程度の目から鱗的な講座）を開催する。
- 5) ワーキンググループ（本年のチャレンジ制度）
  - ・「建築数量積算基準・同解説」のビジュアル化をはかり講習会を開催します。積算学校・積算士試験において、質問事項・ミスの多い項目も取り上げていきます。

2022年も半分過ぎ流行り病も少し収まってきたかな？と思っていたのですが、ここにきてまた感染者数が増えてきた模様。世界では21世紀にもなるのにミサイルや実弾が飛び交う戦争が勃発しており、日本でも経済を始めいろいろな影響を及ぼしています。

その様な中でも積算協会東海北陸支部の事業計画は進めていかななくてはならず、役員会や講習会などなかなかリアルで開催することがまだまだ難しい状況なので、会員の皆様や「建築積算」の発展に少しでもお手伝い出来ればと、リモート等を活用しながら活動しております。ですが3年目となるとリモートが当たり前の環境になって人と人の交流が無くなってしまい、会を運営することの難しさも出てきています。

来年の2023年は2年毎の組織編成の年となりますので、そろそろ来期を見据えた事業計画をしていかなければなりません。積算協会東海北陸支部の歴史はそこそこ長く設立し始めの頃には確か弊社と同じ場所に事務局があったのを幼少の記憶としてあります。その頃に頑張っていた先輩方もそろそろ引退との声を聞くなか次を担う世代がとても薄く、今後の積算協会東海北陸支部をどのようにして継続・発展させていかなければならないかが重要な課題となっております。

我こそは！という建築積算に携わる若い方がおられましたら、会員の皆様の下支えとして今後の積算協会東海北陸支部と一緒に盛り上げることが出来たらと思いますので、事務局にお電話していただければと思います。

## 評価評定委員会

評価評定委員会

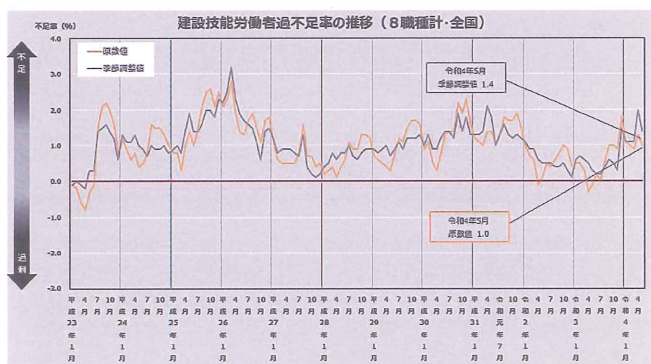
委員長 中川 英人

今期も引き続き評価評定委員長の任を拝命致しましたので宜しくお願い致します。

委員会として積極的なPR活動がなされていないことも有って、当支部への依頼は今のところ届いてない状況です。現状は協会ホームページのグローバルナビだけに頼っている状態ですので、今年度はもう少し積極的なPR活動を進めていきたいと考えております。

公共事業や設備投資事業に関わる人の最大関心事は建設コストですが、現在の建設事情を鑑みますと適正価格の判断が非常に難しくなっております。コロナ禍、またウクライナ危機による情勢不安、加えて急激な円安の進行から、鉄鉱石、原油をはじめとする輸入資材の高騰は建設資材価格の上昇を招き、長期化の気配も濃厚となってきました。そしてここ一年の間に建設費における鉄骨造の構造コストは20%増となっています。と同時に建設技能労働者過不足率も、建設コストに大きく影響してきますので、資材、労務の両面を把握してコストの妥当性を評価することが非常に重要となります。

(下表: 8職種過不足率の参考)



発注者として、事業の予算化や工事見積書評価、予測されるコスト増のリスクなどに対して、公益目的事業の趣旨に沿った形で相談、コメントを求められる機会が多くなってくると予想します。適正数量の検証評価は勿論ですが、市場価格の動向は正確に把握し、依頼の対応に備える準備は常にしておくべきと考えています。

## データベース委員会

データベース委員会

委員長 岩田 清逸

データベース委員会では10年以上前より「解体廃棄物数量積算システム」をホームページ上で公開しています。これは延床面積を入力するだけで分類別の廃棄物の数量が表示されるもので、解体の積算や概算に使える情報がなかった当時、支部委員から提供いただいた多くの内訳書を、数人の委員で建物用途別、産廃分類別に再集計してつくられたデータベースです。以降、随時更新で充実を図ったこのシステムは現在でも多くの方に利用され続けています。

この歴代の委員会メンバーの意思を引き継ぎ今年度からは、積算・コストに関わるデータベースとして「用途別の坪単価事例」の作成を試みることにしました。

リーマンショックからのデフレ影響で建設コストに対してシビアな時代が続いています。コストは計画の早い段階でも精度を持った概算提案などが求められています。しかし一方ではコンプライアンス遵守のため参考にできる建設単価のデータの公開は多くないのが実情です。

また、長く積算に関わっているといつかは「病院って今だと坪いくらくらい？」的な問いかけにぶつかります。実際には積算とは直接関係ないので答えられなくてもよいのですが知らないよりは知っていた方が都合よいこともあります。

手始めに5月よりメンバー10人全員で手分けして公開されている公共工事の入札データを集めはじめています。個々の情報の精度は多少低くとも数を集めることで、データベース化することで、見えてくるものがあると考えています。今までにないおもしろいものをつくることを目指しています。が、まだ手探りで始めたばかりのため、いっような情報をお見せできるか、その具体像はまだわかりません。ただ諸先輩委員の功績に恥じない役立つものになりたいと考えています。進行状況などは今後の支部報で報告いたします。



# 講習委員会

講習委員会  
委員長 勝野 徹

講習委員会では、「人材育成事業」の一環として各種講習会を企画、開催しています。しかし、コロナ禍においては、集合・対面講習が開催できません。そこで、**ウェビナー講習会**を開催しています。

2021年度は「建築積算入門」、「過去問題から学ぶ積算」（積算士1次試験過去問題程度）、2022年度は「建築積算入門」を企画・開催しました。今後は「建築数量積算基準解説」（ビジュアル化）、「建築積算実務講習会」を企画しています。

**パワーポイント（PPT）での資料作成には労力と時間がかかります。**各講習委員の皆様の努力により資料づくりをしています。

**ウェビナー講習会とは、ウェブ（Web）とセミナー（Seminar）を掛け合わせた造語です。**Web上でセミナーを実施することであり、「オンラインセミナー」と呼ばれることもあります。

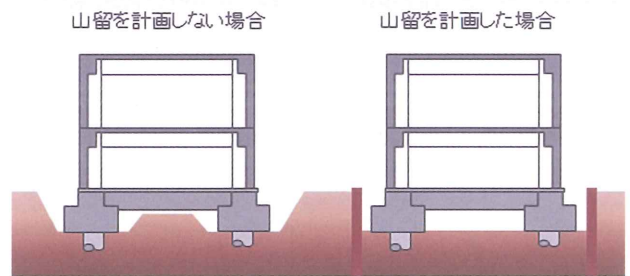
そして、ウェビナー講習会は「**ライブ配信**」と「**録画配信**」に大別できます。当講習委員会ではライブ講習会にするが、資料としてはPPTを作成し録画説明したものを講習資料としています。そうすることにより、講師として受講者への説明が適切かどうかチェックできます。（以前の集合・対面講習では、説明の良し悪しはその日の説明状況任せでした）録画することにより講師として、説明の仕方を修正できます。納得いくまで録画しなおすという作業になります。講師の負担は大きくなりますが、各自で録画作成しています。また、当日は2名以上が配信ルームに待機し、配信中のトラブル回避・質疑回答に対応しています。

「**積算技術者の人材育成事業**」として、地道であり、より労力もかかりますが企画・開催していきます。会員の方、受講者の方、支部役員の方の意見を聞きながら活動していきます。

今後ともよろしくお願ひします。



【土工事は計画数量です。】下図は土工事計画図の断面図になります。



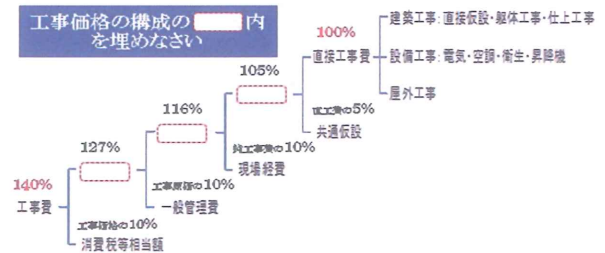
## 外部仕上4(PH屋根)

仕上	計	要	数量
立上り			(㎡)
露出アスファルト防水			12.41
S-2工法 砂付ルーフィングシート 打敷板(打敷板)設置			10.18
X方向	0.40×12.73×2		2.82
Y方向	0.40×2.79×2		2.24
立上り 防水入構造壁			21.04
コーナースタール			22.46
	2.79×2		5.58

図7 Y3通 バラベットの参照  
PH屋根の計画法がないので屋上PHと同じ寸法とした  
600-180-25=395→0.4m  
平均: 50/2=25  
150+30=180  
3000  
露出アスファルト防水  
砂付ルーフィングシート  
コーナースタール(高割)

※ 立上りアスファルト防水の下部が図面に記載がありませんが、打敷板等(打敷板等)を細目名称として記しました。  
※ 高層仕上の下部は常に考慮してください。

## 演習問題4



【上記4つの画像は、過去講習会のパワーポイント資料例です。】

## 資格制度委員会

資格制度委員会

委員長 古川 元

暑中お見舞い申し上げます。

コロナウイルス感染症罹患者も一時は減って経済活動も活発に動き出しましたが、7月になって一部地域では罹患者が増えてきて「全国旅行支援」も先送りとなりました。早く普通の生活に戻りたいですね。そんな中、当協会は引き続き徹底的に感染防止に努めて2021年度の建築積算士二次試験を2022年1月に無事実施致しました。

建築積算士二次試験 2022年1月23日(日)

名古屋会場 ダイテックサカエ会議室

受験者 76名 合格者 50名

金沢会場 石川県勤労者福祉文化会館

受験者 6名 合格者 4名

東海北陸支部の建築積算士二次試験の合格率は66%

全国の合格者491名、合格率65%でした。

2022年度の試験予定のご案内

建築積算士一次試験 2022年10月23日(日)

名古屋会場 ダイテックサカエ会議室

建築コスト管理士試験 2022年10月23日(日)

名古屋会場 ダイテックサカエ会議室

建築積算士二次試験 2023年1月22日(日)

名古屋会場 昭和ビル又はダイテックサカエ

金沢会場 石川県勤労者福祉文化会館

建築積算士更新講習の受講について

建築積算士の更新講習の受講は、Eラーニング、又はDVDによる受講となっています。

どちらも受講が出来ない場合は、支部事務局までご相談ください。

CPD制度のご案内

2018年度に建築コスト管理士資格を取得された方は2023年3月までにCPD単位取得が必要となります。登録更新に必要な単位数は5年間で80単位です。

下記の単位取得例をご参照の上、規定単位数を取得されますようご案内申し上げます。

1 2018年度から2022年度は毎年16単位必要。

① 会誌「建築と積算」CPD記事について  
学習内容を記す。 上限10単位/1年間

2 その他

① 当協会本・支部総会出席 3単位×2回

② 講習会等参加。 1単位×6時間

③ 専門書購読。2単位×6冊

上限12単位/1年間

④ 他団体機関紙購読。4記事×1単位

上限4単位/1年間

継続能力開発(CPD)制度実施細目に必要履修単位の緩和措置が定められています。緩和措置を適用した場合の単位数は5年間で50単位です。

緩和措置適用の条件

1 建築積算士取得後20年を超える場合

2 1級建築士取得後25年を超える場合

CPD申請の詳細は、ホームページ(人材育成のCPD欄)をご参照ください。

東海北陸支部事務局 052-264-0661



## 新役員

## ご挨拶

株式会社フジタ名古屋支店 建築積算部

浅枝 亮



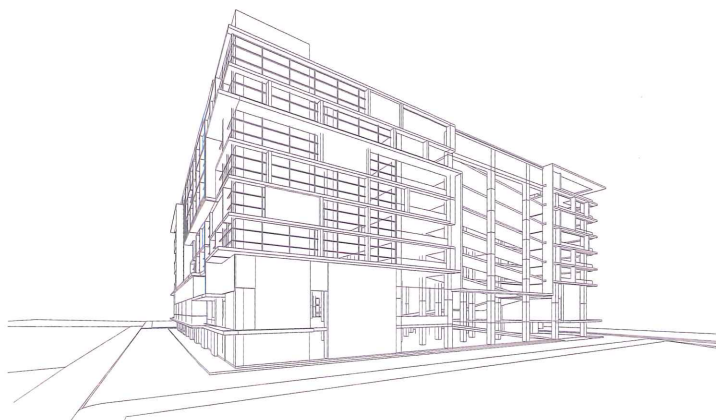
この度新しく支部役員（教育委員、情報化委員）となりました株式会社フジタの浅枝と申します。宜しく申し上げます。

私は昭和58年7月27日生まれで、今年39歳になります。出身は広島県で、入社してからは東京—広島—東京と配属になっておりました。名古屋には昨年9月に赴任してきたのが初めてで、まだ1年も経っておらず土地勘もあまりないような状態です。

積算業務に携わるようになったのは27歳くらいからで12年ほど経ったところです。管理職になってからはようやく3年が経ちましたが、まだまだ毎日業務に追い回されながら忙しく過ごしております。

協会活動には今まで関わってこなかったのですが、フジタ前任者の異動に伴って今年より参加させて頂くこととなりました。協会の中では違う会社・職種の方々と交流や新しいことへの取り組みを楽しみにしております。

若輩者ではございますが、支部に貢献できるよう頑張っていきたいと思っております。これから宜しく申し上げます。



## 新役員

## ご挨拶

株式会社大林組名古屋支店 見積部

増田 裕介



この度新しく支部役員となりました株式会社大林組の増田と申します。よろしく申し上げます。

1995年に入社し、大阪の4年間と神戸の5年間は現場施工管理、名古屋では8年間に新築や改修工事の現場施工管理、そしてアフターサービス部門も経験しました。そのあとリニューアル部門を5年勤務し、見積部へ配属となり積算に携わってから5年が経過しました。受注から建設、そして保全、改修と、まさに建築生産過程の上流～下流までを経験してきました。

先日、社内講師として現場配属予定の新入社員を対象に、簡単な躯体・仕上げ積算の講習を行う機会がありました。建築コストは積算数量×単価であると説明を行って、積算の重要性を再認識しました。また、演習問題作成の際に建築数量積算基準や積算協会の建築積算を読み返したりして、事前準備が大変でしたが、自分の理解が再整理できたいい機会となりました。

コロナ禍によって政府の方針でテレワークが推進されてきて、私自身の働き方も大きく変わり、「テレワーク」中心の勤務となりました。結果的には働き方が多様化され、時間を有効活用でき、ワーク・ライフ・バランスの実現のためには効果的な施策であると感じています。

このようなご時世で、これまで積算協会の活動に参加してこなかったのですが、微力ながらお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

## 新役員

## ご挨拶

株式会社大建設計

尾藤 貴志



このたび支部役員にくわえて  
頂きました株式会社大建設計名  
古屋事務所の尾藤と申します。  
よろしく願いいたします。

私は建築積算事務所でキャリ  
アをスタートさせ、その後メーカーでの技術営業  
や工事管理、マンション管理会社では購買、長期  
修繕計画作成業務など経験させて頂きました。拠  
点で申しますと30歳まで地元大阪で過ごし、そ  
の後約3年中国の大連駐在、その後帰国し約10  
年東京、そして約5年前に大建設計入社をきっか  
けに名古屋に参りました。現在は名古屋市内で妻  
と愛犬と暮らしております。

趣味レベルではございますが文筆活動などをし  
ており、昔は映画脚本や小説などを執筆しており  
ました。大昔少しだけかじっていたボクシングに  
関連した書籍は商業出版され某サイトでは星4.8  
を頂いております。もしご興味ございましたらご  
購読いただければと思います。勿論冗談です。

積算に関係のない話ばかりしてしまいました  
が、ふらふらと様々な経験をさせて頂いたことが、  
コストの提案や説明など現在の大建設計での業務  
でも活かしている部分も感じております。

積算技術者の役割も幅が広がり、変化している  
と思います。組織系設計事務所、その中でのコス  
ト担当者という意味でも同様です。

常に危機感と、同時に良い変革の機会もあるの  
ではとの期待も抱きつつ、役員就任を機に皆様と  
も情報共有させて頂き、ご指導たまわりながら、  
少しでも支部に貢献できるよう尽力させて頂きた  
いと思います。よろしく願いいたします。

## 新役員

## ご挨拶

(株) 二葉積算 名古屋支社

西部 明宏

このたび、支部役員となりました二葉積算の  
西部と申します。

東海北陸支部の講習委員会に所属して13年ほ  
どになります。入った動機は当時の講習委員に碓  
谷委員長、藤井さんをはじめ積算事務所の勇と言  
われる方々がいました。何かお話しが出来ればい  
いな、との思いで志願した次第です。

しかし、入ってみると設計事務所の大先輩方に  
加え、ゼネコン積算部の武者とそこは積算の強者  
が勢ぞろいの場でした。そんな皆さんが積算を通  
じて各々の立場で意見を交えているのを見て大変  
勉強になったといえますか、我楽多文庫で個々に  
言いたいことを言って楽しく過ごしたことを思い  
出します。

その中である日、碓谷委員長から「西部さんは  
何が出来るのだね。」と言われて、そうだ講習を  
しなくてはいけないのか！と気づきました。仕上  
げ積算の講習ならできるかな。から始まり、いろ  
いろ講習を任されるようになりました。現在は  
勝野委員長の指導の下、講習の企画実行と共に  
WEB講習に励んでいます。

職務に関しては積算事務所で建築積算のお仕事  
を30年以上してきています。入社した頃は手拾い、  
手計算、手集計と鉛筆で紙に書いて拾いをしてい  
ました。手拾い最終の世代です。これにより数量  
積算の基本は身をもって取得したと思います。積  
算ソフトの普及により作業効率が飛躍して進みま  
した。しかし仕事の負担が減った訳でもないのが  
不思議ですね。そんな積算環境の移り変わりを経  
て現在に至ります。ただ今の若者に「昔に比べた  
ら楽に拾いができるようになったんだぞ」と言っ  
ても、ピンと来ないようです。

最後に、役員を任命いただきお礼申し上げます。  
積算協会の活動に微力ながら貢献していきたい所  
存です。よろしく願いいたします。



## 就業体験

名古屋市立工芸高等学校  
建築システム科 2年  
岡 唯那



私はこの3日間、株式会社  
剛谷建築積算事務所にお世話  
になりました。2年生に入って積算  
の授業が始まり、そこで学んで

いく中で積算士という職業に興味を持ちました。就業体験先が剛谷建築積算事務所に決まり、これを機に授業では学べない実際の積算業務について学び、将来の進路選択に役立てようと思いました。

就業体験初日は、練習用の図面から床、巾木、壁、天井、その他の拾い出しをしました。RC造の図面に不慣れだったこともあり、分からないことばかりでしたが担当の方が丁寧に教えてくださったので、出来るようになりました。2日目は、2階建RC造の図面から床、巾木、壁、天井、その他の拾い出しをしました。練習用の図面よりも建具の数が多、スラブの厚さが明記されていないなど、少し違ったところもあり苦戦しました。この図面での拾い出しを通して、理解できていなかったことを知ることができました。最終日は、2日目の拾い出しの確認を担当の方にいただきました。完璧ではなかったですが、最初よりも出来るようになっていくことを実感することができました。

その後に、質問をさせていただける時間を設けていただき、質問をさせていただきました。事務所の方々一人一人の仕事への考え方について聞くことができて、とても勉強になりました。

最後に、株式会社剛谷建築積算事務所の皆さんのおかげで、とても楽しく有意義な就業体験となりました。

お忙しいところ、貴重な時間を割いていただきありがとうございました。

## 就業体験

### 積算の魅力

名古屋市立工芸高等学校  
建築システム科 2年  
天草 夏海



私は就業体験を通して三日間、株式会社二葉積算名古屋支社で積算について色々な事を

学ぶことが出来ました。まず私が就業体験で積算事務所に行きたいと思ったきっかけは、積算の授業で先生から積算は数字が大事だ、と教えてもらい、小さい頃から習っていたそろばんの能力が活かせると思ったからです。実際、積算業務の体験をさせて頂いて、構造図や意匠図などから数字を読み取る力も大事だということを知りました。図面に書いてある数字を読み取って計算するだけでなく、壁の面積ならば、開口部の面積を差し引くなど、細かい部分まで読み取らなければならないことも分かりました。また、建物一つ分の設計図や仕様書をまとめると約5cmの厚さになる事も知れて大変驚きました。そういった点から、図面を書くことも大変だと感じました。

私が今回の就業体験を通して感じた一番の魅力は、積算業務を全うすることができたならば大変大きな達成感を味わえるのではないかと感じたことです。もう一つは、普段見ることのできない建物の内部に関して、普通なら建物の外見しか見ることができないので、図面を通して内部を知れるのはすごく勉強になり、これも積算業務の魅力だと感じました。就業体験では、事務所の方々に大変優しく丁寧に教えて頂きました。お昼ご飯のときには、私を誘って頂いて、一緒にお話しをしながらご飯を食べることができて大変楽しかったです。また、どこの部分にどういう材料が使われているのかを建物の中をまわりながら教えていただいた事もとても印象に残っています。この三日間を思い返すと、皆さんのおかげで、とても楽しく貴重な時間と経験を積む事が出来ました。最後になりますが、お忙しい中、三日間お世話して頂き、ありがとうございました。

## 「積もる話」その18

支部会員 西田 彰

暑い！とにかく暑い！言いたくなくても暑い！！

1カ月も早く梅雨があけたと思ったら戻り梅雨、でも結局はいつも通り夏休みに入るころに夏が始まりました。

私事ですが、積算業界に入って今年で半世紀が過ぎました。オイルショック・ドルショック・バブル崩壊と色々苦しい経験をしてきましたが今となっては懐かしい思い出です。

当時、建築とは関係ない仕事をしていたのですが飯が食えなくなりました。小銭が貯まる迄のつもりでこの業界に入ったのですが、あることがきっかけで抜け出すことができなくなり今に至ることとなりました。そのきっかけとは電電公社(後のNTT)の積算課長が新米の私に話してくれた一言です。それは「数字の中にロマンがあるから私は積算が好きです。」当時の私にはよく分かりませんでした。仕事を覚えるにつれて少しずつ理解できるようになりました。あらゆる数値がそれぞれに一定の規則で関係しあっているということです。例えばよくあるのが、延べ面積に対するコンクリート・型枠・鉄筋(鉄骨)の比率。一時会社では、図面を見て「コンクリート・型枠・鉄筋」の数値を5%以内の誤差で当てるゲームをしていました。的中すればお小遣いがもらえることでしたが、残念！当たることはなく1年ほどで自然消滅しました。

そんな中で某設計事務所の積算担当の方から、面白い話を聞きました。「私が若いころの積算では、木材は石(こく)の単位で積算をしていた。石も石(こく)で拾っていた。」何だそれ！当時の私に未知の単位でした。広沢虎造の浪曲「三十石船」にも石(こく)を単位とする船が出てきます。・・・こちらは米を30石(こく)積める小型の船の事で、「食いねえ食いねえ寿司食いねえ」のあの有名な会話が船の上で展開されます。これは理解！

単位について紹介したい忘れようとしても忘れられない「積算変人」。変人は失礼かもしれませんが、だったら「積算マニア」とでも言いませんか。積算にはマニアックな持論がありその一つを紹介します。

「1式」です。今の積算ソフトやエクセルでの設計書では、数値の欄に「1」単位の欄に「式」としているのが普通ですが、ある時この積算マニアから呼び出され注意をされました。まだ手書きの設計書の時代です。

『あんた、数値の欄に「1」単位の欄に「式」って分けて書いてあるけど、これあかんがね。だったら2式や3式もあるか？これはだなあ「一式」という言葉で数値や単位とは違うんだわ。一切合切(いっさいがっさい)って二切合切って言うか？万博(万国博覧会)って2万博って言わんでしょ。あくまでも「一式」という言葉だで切り離したらあかんがね。数値の欄でええから「一式」と書いてちょうだい。これ持って帰って今日中に全部直してきて。』

あえて変人と書きましたが、「積算の神様」と紙一重の方で、私は嫌われていたかもしれませんが私は大好きです。(同僚の和田さんは好かれていました。手作りの手帳をプレゼントされたのです。)・・・渋谷さん、今もお元気でしょうか。

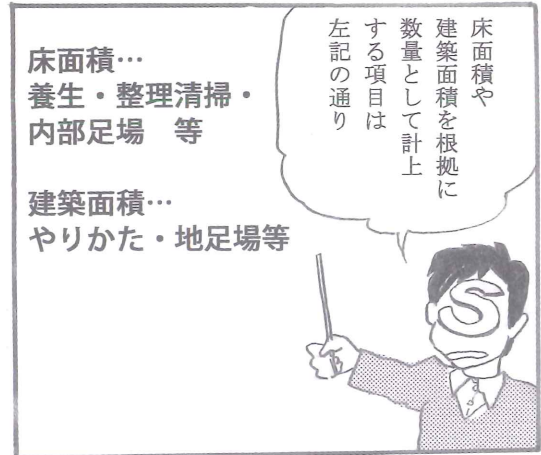
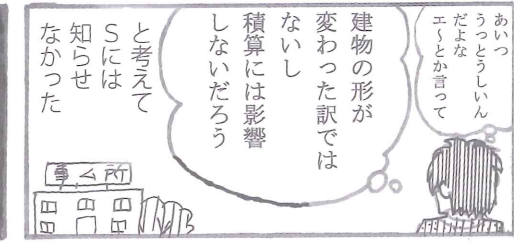
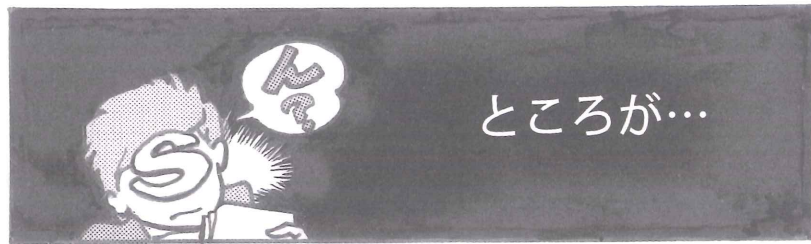
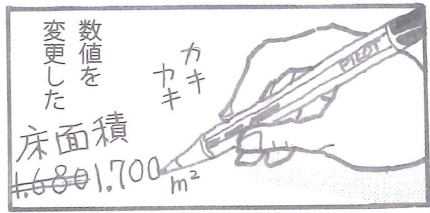
今回は、「楽しい数値」について書こう思ったのですが、大先輩の「単位」のお話で終わってしまいました。またの機会に書いてみようと思います。「高級自動車」1gの価格より「ふりかけ」1gの価格の方が高い話。サランラップは20m巻と50m巻、なぜか1m当たりは20m巻が安い。刺身を食べる時、このマグロは1㎡いくらだろうか視点を変えてみる・・・1㎡の箱にきっちり人間を詰めたら何人入るだろうか？数値を違った方向から見てみると結構たのしいものです。ではまた。



# 積算の誤解あるある

※本漫画は「公共建築数量積算基準」をもとに、物語を展開しています

作 積 ツトム



訓  
床面積関係の変更は  
速やかに積算担当者に伝える事  
形変わらねど 変わる数あり



※この物語はフィクションであり、実際の人物や団体とは一切関係ありません



# 働き方改革ワーキンググループ

## 働き方改革ワーキンググループ

岩田 清逸

2020年に東海北陸支部で立ち上げた働き方改革ワーキンググループでは、適切な積算期間の確保を目指し「積算期間の実情調査」および、主に発注者・積算業務委託者に向けて「標準積算期間(暦日数)」を明らかにする活動をしています。

目指す成果は「アンケート集計」「標準積算期間と算定フォームの作成」「よくある質問と条件」。メンバー構成は積算事務所2名、設計事務所4名、総合建設業5名の計11名。今回は支部報第75号で掲載の活動報告以降の内容になります。

なお標準積算期間の算定根拠は日本積算事務所協会様より提供の研究資料(H16)より一部引用しております。

### ■活動状況

- ・第7回 2021年9月:5月に実施したアンケートの回答結果から「標準値入期間」の算定基準を2人/日と設定する。ワーキング活動期間の延長を協議。進捗はアンケート集計100%、標準積算期間と算定フォームの作成40%、よくある質問と条件0%。
- ・第8回 2021年11月:標準積算期間、標準値入期間の確認。特例条件の設定。算出イメージと模式図の設定。
- ・第9回 2022年2月:算定フォーム用のExcel式の完成。よくある質問の内容と言い回しを協議。HPに掲載する範囲を決定。進捗はアンケート集計、標準積算期間と算定フォームの作成、よくある質問と条件ともに100%。
- ・2022年4月:日本建築積算事務所協会へ研究資料の更新版の提供を依頼。ホームページ掲載用の算定フォームのWEBデザインを外部業者に依頼。
- ・2022年7月:3回の修正を経てWEBデザイン完成。引き続き算定数式の織り込みを進行中。  
進捗:ホームページ掲載工程80% リリースまで今しばらくお待ちください。

暑中お見舞い申し上げます



公益社団法人  
日本建築積算協会 東海北陸支部

本部理事  
支部長 山田 治

事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄四丁目3-26 昭和ビル2階  
☎ (052)264-0661 FAX(052)264-0662  
E-mail toukaihokuriku@bsij.or.jp  
URL http://bsi-th.052e.com/



株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫  
Tetsuo Torii

〒460-0008 名古屋市中区栄2-5-13 アイ・エスビル2階  
TEL: 052-602-9525 携 FAX: 052-602-9526  
E-mail: tetsuo.torii@mune-kenchiku.co.jp  
URL: http://www.mune-kenchiku.co.jp



代表取締役社長

藤曲 充信

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市南区渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854  
携帯 TEL.090-7956-5813 E-mail magari@ips-r.co.jp



株式会社 浦野設計

URANO ARCHITECTS & ENGINEERS

代表取締役社長

浦野 廣高

技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区西八幡町90番地  
TEL. 052-503-1211 FAX. 052-505-2712  
URL http://www.urano-s.co.jp/  
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp  
東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12  
TEL. 03-3811-9128 FAX. 03-3811-9582





暑中お見舞い申し上げます



えにし  
株式会社 縁  
一級建築士事務所

名古屋事務所 所長  
船 岩 貴 志  
FUNAIWA TAKASHI  
建築積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館  
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063  
携帯 080-8561-4781  
E-Mail: funaiwa@enishi-cm.co.jp  
URL: https://www.enishi-cm.co.jp/

建築設計・監理・再開発コンサルタント



株式会社 押田建築設計事務所

代表取締役会長 押田 洋治  
代表取締役社長 白川 晴邦

〒930-0085 富山県富山市丸の内3-4-16  
TEL.076-492-1225 FAX.076-492-4747  
<http://www.oshidasekkel.co.jp/>



創業 74 周年

川 辺 建 設 株 式 会 社

川辺一級建築士事務所  
本 社 名古屋市中区清水二丁目4番10号(川辺ビル)  
〒462-0844 TEL(052)931-0181  
FAX(052)931-0187  
e mail kawabe k@gld.mmtr.or.jp  
URL <http://www.gld.mmtr.or.jp/~kawabe-k>

代表取締役社長

川 辺 清 次

一級建築士、設備設計一級建築士  
一級建築施工管理技士、宅建取引主任

古紙 100%再生紙



国豊積算株式会社

専務取締役 箱崎 一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル  
TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945  
支所：東京・大阪・福岡・札幌  
URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>



SUZUKI ARCHITECTS & ASSOCIATES INC.  
建築設計・監理

株式会社 鈴木一級建築士事務所

代表取締役 鈴木 保 二

〒930-0076 富山市長柄町2丁目1番21号  
TEL(076)421-9118 FAX(076)424-7454

株式会社 研谷建築積算事務所

代表取締役 とぎ や 谷 将 紀

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市中区広路本町6-11-2  
TEL (052) 859-0686  
FAX (052) 859-0687  
静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀45-5  
TEL (0557) 68-5842  
FAX (0557) 68-5844  
E-mail:masatoshi@togiya.net  
携 帯 090-7031-1993



三四五建築研究所



株式会社 中野積算

名古屋支社

支社長 山 北 大 蔵

DAIZO YAMAKITA  
建築積算士

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目29-10 錦通KDCビル  
支 社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960  
E-mail:d-yamakita@nakano-sekisan.co.jp  
本 社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪5-13-7 TEL 03(3392)6121  
支 社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

暑中お見舞い申し上げます

株式会社 林 積 算

代表取締役 林 進

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階  
TEL 052-262-3781  
FAX 052-262-3783  
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp

有限会社 高島建築積算事務所

所 長 高島義昭  
一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2  
TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340  
携帯電話 090-3293-6920  
E-mail:takasima@aqua.ocn.ne.jp

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会  
富士教育訓練センター

会長 才賀清二郎

〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8  
TEL 0544-52-0968 FAX 0544-52-1336  
<http://www.fuji-kkc.ac.jp>



コストエンジニアリング&コンサルタント  
株式会社 二葉積算  
名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0008  
名古屋市中区栄一丁目16番6号 名古屋三蔵ビル  
TEL 052-231-8336(代表) FAX 052-231-6669  
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp  
URL <http://www.futaba-sekisan.co.jp>  
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦  
常務取締役 渡邊 國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)  
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)  
<http://www.ito-aei.co.jp>

BIM対応  
建築積算システム

FKS RC 2.0  
FKS FN 2.0

次世代見積書作成システム

KYOEI COMPASS 2.0

マンション大規模修繕・改修専用  
リニューアル見積算ソフト



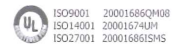
国土交通省ガイドライン準拠  
長期修繕計画表作成ソフト



KYOEI 協栄産業株式会社 建設営業部 建設営業課

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6 品川シーサイドキャナルタワー

[TEL] 03-4241-8841  
[FAX] 03-5479-3564  
[URL] <https://www.kyoei.co.jp/fks>



ISO9001 20001686QM08  
ISO14001 20001674UM4  
ISO27001 20001686ISM5



TOMOデータサービス株式会社

代表取締役

今岡 朝和

本社 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル  
TEL(06)6351-8452 FAX(06)6351-8925  
E-mail: [imaoka@tomodata.co.jp](mailto:imaoka@tomodata.co.jp)  
<http://www.tomodata.co.jp>  
東京事務所 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル  
TEL(03)5816-7080 FAX(03)5816-7081



株式会社 中建設計

CHUKEN SEKKEI CO.,LTD.

代表取締役社長 石田 壽  
取締役主幹 堀田 淳二

〒460-0008  
名古屋市中区栄二丁目 2-12 NUP伏見ビル5F  
TEL:052-222-7850 FAX:052-222-7856



## 賛助会員名簿

東海北陸支部

会社名	住 所	電 話	ホームページ
(株) 飯島建築事務所	名古屋市東区葵1-25-1 ニッシンビル204号室	052-937-7451	<a href="http://www.iijima-sd.co.jp/">http://www.iijima-sd.co.jp/</a>
(株) 伊藤建築設計事務所	名古屋市中区丸の内1-15-15	052-222-8611	<a href="http://www.ito-aei.co.jp/">http://www.ito-aei.co.jp/</a>
(株) エルエックス	岐阜市中鶯3-98-2	058-273-4546	<a href="http://www.el-ex.co.jp/index.php">http://www.el-ex.co.jp/index.php</a>
協栄産業(株) 建設ソリューション事業部	東京都大田区平和島6-1-1 TRC マラックスビル	03-3767-2345	<a href="https://www.kyoei.co.jp/fks/">https://www.kyoei.co.jp/fks/</a>
共立建設(株) 東海支店	名古屋市中区松原三丁目2番8号 テルウェル新松原ビル	052-324-2191	<a href="http://www.kyoritsu-con.co.jp/">http://www.kyoritsu-con.co.jp/</a>
(株) キング鈴井商会	名古屋市中村区野田町字中深18-3	052-412-4112	<a href="http://www.kingsuzui.co.jp/">http://www.kingsuzui.co.jp/</a>
(株) 末永製作所	岐阜県揖斐郡揖斐川町房島1822-3	0585-22-0778	<a href="http://www.suenaga-ss.co.jp/">http://www.suenaga-ss.co.jp/</a>
セブン工業(株)	岐阜県美濃加茂市牧野1011	0574-28-7635	<a href="http://www.seven-gr.co.jp/">http://www.seven-gr.co.jp/</a>
(職) 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター	静岡県富士宮市根原492-8	0544-52-0968	<a href="http://www.fuji-kkc.ac.jp/">http://www.fuji-kkc.ac.jp/</a>
TOMOデータサービス(株)	大阪市北区天神橋7-5-23	06-6351-8452	<a href="http://www.tomodata.co.jp/">http://www.tomodata.co.jp/</a>
トヨタT&S建設(株)	名古屋市昭和区御器所通3-23	052-735-3400	<a href="http://www.toyota-ts.co.jp/">http://www.toyota-ts.co.jp/</a>
(株) 藤尾建築構造設計事務所	名古屋市中区丸の内1-13-11 ジャルダン桜橋5B	052-203-5857	<a href="http://www.fujio-se.jp/">http://www.fujio-se.jp/</a>
ほそ川建設株式会社	金沢市示野町西3番地	076-267-8008	<a href="http://www.hosokawakensetsu.co.jp/">http://www.hosokawakensetsu.co.jp/</a>
(株) U' s F a c t o r y	横浜市保土ヶ谷区神戸町134 横浜ビジネスパークイーストタワー11階	045-348-1561	<a href="https://us-factory.jp/">https://us-factory.jp/</a>

## 建築積算士補教育認定校

東海北陸支部

校 名	学部・学科	所在地	ホームページ
学校法人 愛知産業大学	造形学部建築学科	岡崎市岡町原山12-5	<a href="http://asu-g.net/univ/">http://asu-g.net/univ/</a>
愛知県立名古屋高等技術専門校	訓練課建築総合科	名古屋市北区安井2-4-48	<a href="http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya">http://www.pref.aichi.jp/shugyo/koukyou/nagoya</a>
静岡県立島田工業高等学校	建築科	島田市阿知ヶ谷201	<a href="http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/">http://www.edu.pref.shizuoka.jp/shimada-th/home.nsf/</a>
静岡県立浜松工業高等学校	建築科	浜松市北区初生町1150	<a href="http://www.hamako-ths.ed.jp/">http://www.hamako-ths.ed.jp/</a>
椋山女学園大学	生活化学部生活環境デザイン学科	名古屋市千種区星が丘元町71-3	<a href="http://www.sugiyama-u.ac.jp/">http://www.sugiyama-u.ac.jp/</a>
学校法人電波学園 東海工業専門学校 熱田校	建築科	名古屋市熱田区花表町19-14	<a href="http://tpchs.denpa.jp/">http://tpchs.denpa.jp/</a>
学校法人電波学園 東海工業専門学校 金山校	建築科	名古屋市中区金山二丁目7-19	<a href="http://www.tpc.ac.jp/">http://www.tpc.ac.jp/</a>
名古屋市立工芸高等学校	建築システム科	名古屋市東区芳野2-7-51	<a href="http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/">http://www.kogei-th.nagoya-c.ed.jp/</a>

令和  
3年版

# 公共建築工事積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価9,130円(税込)

公共建築工事積算基準を始めとする積算基準類の最新の内容!  
令和2年3月並びに令和3年3月の改定を反映。参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!

## 建築積算のための仮設計画

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部

◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価5,500円(税込)

公共建築工事の積算業務に携わる方々の必携書!!  
前版『建築積算のための仮設計画標準(2003年10月発行)』の全面見直しを行った改訂版!

四会連合協定

## 建築設計・監理等業務委託契約 約款の解説

◎編著/四会連合協定 建築設計・監理等業務委託契約約款調査研究会

◎監修/大森文彦(弁護士)

定価5,060円(税込)

令和2年(2020年)4月改正。改正民法を反映した最新版!

平成  
29年版

## 建築数量積算基準・同解説

◎制定/建築工事建築数量積算研究会

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価4,400円(税込)

基準本文、解説部分および参考資料を改定し、平成29年版として発刊した最新版!

平成30年版

## 建築工事内訳書標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所・(公社)日本建築積算協会

◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所

定価5,060円(税込)

建築工事の積算業務に携わる方々に向けて! 国の統一基準として制定された「官民合同策定」の最新版。



株式会社 大成出版社

<https://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888

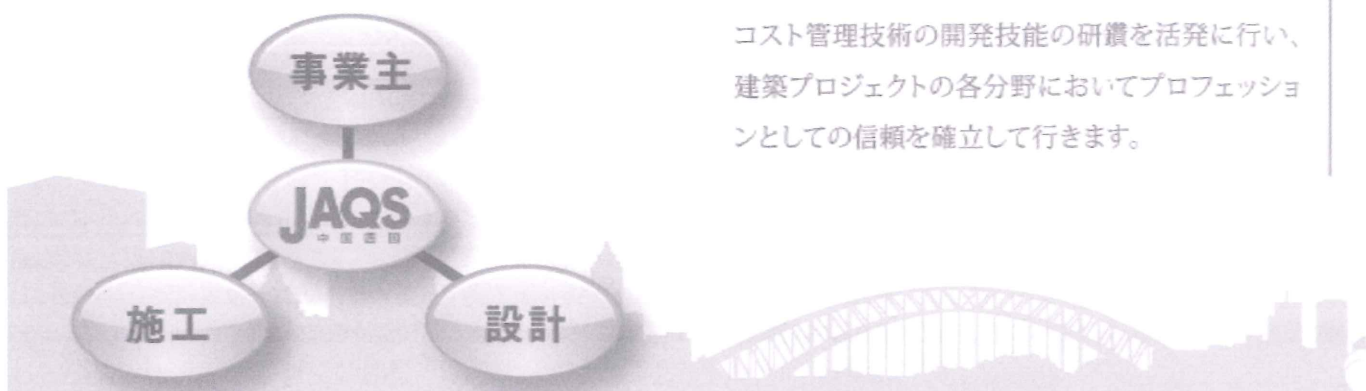
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11



## ▶ 事業内容

私達は、コスト管理の専門家集団として建築コストの透明性、公平性、妥当性を確保し、社会のニーズに積極的に対応しています。

コスト管理技術の開発技能の研鑽を活発に行い、建築プロジェクトの各分野においてプロフェッショナルとしての信頼を確立して行きます。



## ▶ 基本構想から解体・撤去まで、あらゆる段階でのサポートをいたします。



### JAQS 東海支部会員名簿

事務所名	代表者	住 所
(株)棟建築企画 (東海支部 代表)	鳥居 哲夫	名古屋市中区栄 2-5-13 アイエスビル2階 Tel 052-602-9525 fax 052-602-9526
(株)アイピーエス	藤曲 充信	浜松市南区渡瀬町 1000-3 Tel 053-461-8866 fax 053-461-8854
(株)研谷建築積算事務所	研谷 将紀	名古屋市中区昭和区広小路本町 6-11-2 Tel 052-859-0686 fax 052-689-0687
(株)二葉積算 名古屋支社	中川 英人	名古屋市中区栄 1-16-6 名古屋三蔵ビル6階 Tel 052-202-4800 fax 052-202-4802
(株)林積算	林 進	名古屋市中区栄 5-26-39 GS栄ビル6階 Tel 052-262-3781 fax 052-262-3783
明峰積算事務所	宮西 繁	石川県小松市松梨町 乙 87番地 Tel 0761-23-0148 fax 0761-23-0148

積算業務の効率化に貢献する

〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23  
 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7



http://www.tomodata.co.jp / info@tomodata.co.jp

# TDS Application Series

[見積] <sup>five</sup>V 「あったらいいな」が標準装備でスマートなシステム

記号	品名	仕様	数量	単価	単価	金額	備考
1	外断熱	外断熱	184	m <sup>2</sup>	2,800	515,200	
2	断熱材	断熱材	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
3	外装	外装	329	m <sup>2</sup>	1,500	493,500	
4	内装	内装	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
5	天井	天井	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
6	床	床	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
7	壁	壁	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
8	窓	窓	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
9	扉	扉	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
10	設備	設備	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
11	電気	電気	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
12	水道	水道	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
13	暖房	暖房	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
14	空調	空調	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
15	照明	照明	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
16	音響	音響	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
17	防音	防音	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
18	防火	防火	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
19	防犯	防犯	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	
20	その他	その他	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200	

品名	計算式	員数	数量
1	18.45	.50	2
2	13.45	.50	2

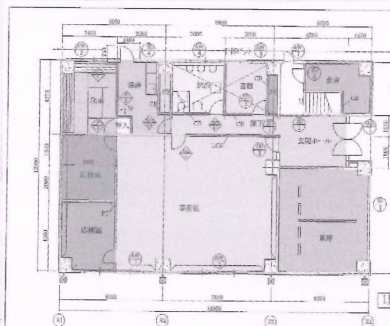
品名	仕様	数量	単価	金額	備考
1	外断熱	184	m <sup>2</sup>	2,800	515,200
2	断熱材	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
3	外装	329	m <sup>2</sup>	1,500	493,500
4	内装	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
5	天井	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
6	床	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
7	壁	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
8	窓	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
9	扉	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
10	設備	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
11	電気	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
12	水道	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
13	暖房	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
14	空調	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
15	照明	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
16	音響	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
17	防音	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
18	防火	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
19	防犯	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
20	その他	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200

建築積算協会の標準内部仕上計算書に準じたデザイン [仕上]

品名	仕様	数量	単価	金額	備考
20	外断熱	184	m <sup>2</sup>	2,800	515,200
21	断熱材	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
22	外装	329	m <sup>2</sup>	1,500	493,500
23	内装	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
24	天井	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
25	床	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
26	壁	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
27	窓	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
28	扉	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
29	設備	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
30	電気	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
31	水道	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
32	暖房	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
33	空調	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
34	照明	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
35	音響	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
36	防音	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
37	防火	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
38	防犯	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
39	その他	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200

品名	仕様	数量	単価	金額	備考
1	外断熱	184	m <sup>2</sup>	2,800	515,200
2	断熱材	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
3	外装	329	m <sup>2</sup>	1,500	493,500
4	内装	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
5	天井	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
6	床	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
7	壁	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
8	窓	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
9	扉	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
10	設備	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
11	電気	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
12	水道	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
13	暖房	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
14	空調	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
15	照明	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
16	音響	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
17	防音	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
18	防火	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
19	防犯	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
20	その他	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200

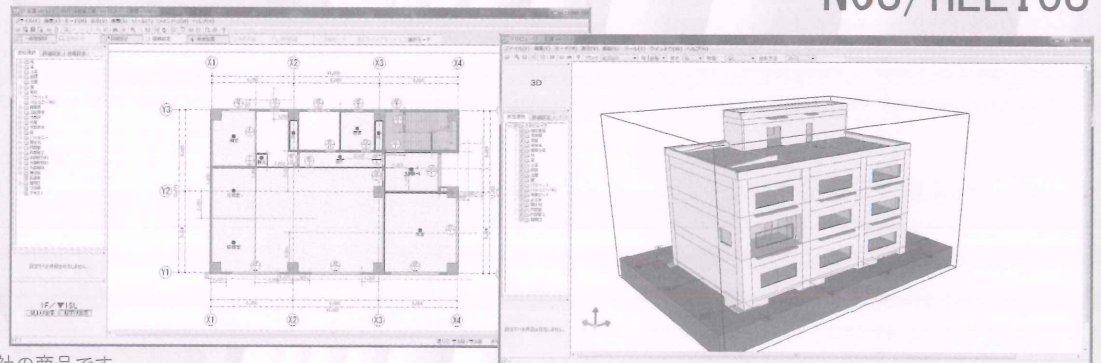
[イメージ計測] 面積計算必要なしで図面計測の効率化 UP!



品名	仕様	数量	単価	金額	備考
1	外断熱	184	m <sup>2</sup>	2,800	515,200
2	断熱材	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
3	外装	329	m <sup>2</sup>	1,500	493,500
4	内装	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
5	天井	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
6	床	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
7	壁	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
8	窓	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
9	扉	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
10	設備	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
11	電気	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
12	水道	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
13	暖房	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
14	空調	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
15	照明	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
16	音響	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
17	防音	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
18	防火	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
19	防犯	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200
20	その他	319	m <sup>2</sup>	2,800	893,200

配置入力No. 1!

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOS は株式会社積日積の商品です。



## 編集後記

ロシアによるウクライナ侵攻から5か月余りが過ぎようとしています。なぜ止められないのか？難しさはわかっていますが、なんとも胸が締め付けられる思いでウクライナの人々の無事を祈っています。なんと非力な民主主義かと嘆きながら。

新型コロナウイルス感染が急拡大する中、世界的な経済危機や食糧危機が起こっており、我々の業務に直結する予測不能な建設物価の高騰等々…、本当に頭が痛い問題山積で、いつになったら安心して暮らせるようになるのでしょうか。

さて、そんな中ですが、データベース委員会は「用途別坪単価事例」の作成を進めており、働き方ワーキンググループでは、適切な積算期間の確保を目指して「標準積算期間と算定フォームの作成」等に取り組んでいます。また、講習委員会では、ウエビナー講習会の開催のために尽力しています。各委員会とも新しい役員を迎え、支部一丸となって積算協会を盛り上げようと努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 【表紙の写真】 JR 名古屋駅東口にあるモニュメント「飛翔」

名古屋市制 100 周年の 1989 年（平成元年）に「過去から未来への発信」をテーマとして製作されたモニュメントで飛翔の製作後には周囲のビル建設が以下の様に始まりました。JR セントラルタワーズ（1999 年）、ミッドランドスクエア（2006 年）、大名古屋ビルディング（2015 年）、JR タワー名古屋（2015 年）、JR ゲートタワー（2017 年）その中央に飛翔が鎮座しています。愛知県民だけでなく他県から観光客にも印象にのこるモニュメントでしたがリニア開業に向けた駅周辺の整備のため、6 月から解体工事が始まっています。



（松本利治）

広報委員	担当役員	藤曲 充信
	委員長	堀田 淳二
	副委員長	松本 利治
	委員	加藤 一也
	委員	亀田 大輔
	委員	桑名 利男
	委員	後藤 学
	委員	高嶋 義昭
	委員	都築 修
	委員	山田 貴
	事務局	道家事務局長

### 支部報 『東海北陸』 No.76

発行 公益社団法人 日本建築積算協会  
東海北陸支部

名古屋市中区栄四丁目3-26  
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2022年8月吉日

# 建築積算見積システムの決定版

## ■ 建築積算システム

BIM対応

テレワーク対応

RC数量積算

NEW



拾い時間の短縮・省力化、複雑な建物形状にも柔軟に対応

- ・PDF取込機能で断面リストの簡易取込を実現！
- ・鉄骨積算機能を追加。鉄骨の主部材の拾いが行えます
- ・根切図の自動作図機能で土工事の数量もすぐに算出

仕上数量積算

NEW



部屋形状作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- ・PDF取込機能で、仕上リストの簡易取込を実現！
- ・PDFやCADデータを取込み、面積・長さを簡単に計測
- ・複数の下図ファイルを切り替えて同時拾いが可能

## ■ 見積作成システム

テレワーク対応

建築見積作成

NEW



自動値入や見積依頼など値入作業の効率化を実現

- ・建築積算システム「FKS」から数量を受け取り自動で工種別に展開
- ・他物件から同一明細を検索して単価の自動セットが可能
- ・充実したデータ互換を実現(Excel・BCS・RIBC等)

定額制

## 積算見積システム サブスクリプションサービス開始

定額制の  
優れた  
ポイント！

初期費用  
が安い！

初月から定額料金の月額費用で、お手軽にご利用頂けます。

最新版を  
使い放題！

ソフトは常に最新バージョンを利用頂けます。バージョンアップ費用やサポート費用が無料！常にサポートセンター利用し放題！

クラウド  
対応！

在宅勤務にも最適！KYOEI クラウドサービスを合わせて利用すれば場所を気にせず利用が出来ます。

BIMモデルで積算するワークフローをご提案します

## COST-BIM プロジェクト

建築積算システム「FKS」の配置機能を使い BIMモデル作成の労力を大幅削減  
基本モデル作成と概算を積算システムを入口として行うことを提案します。

BIMの入口は **FKS** から



KYOEI



KYOEI 協栄産業株式会社

建設事業部 建設第一部

東京

TEL 03-4241-8841

〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-6

品川シーサイドキャナルタワー

大阪

TEL 06-6451-9781

〒553-0003 大阪市福島区福島3-14-24 福島阪神ビルディング

E-mail fks@kyoei.co.jp URL <https://www.kyoei.co.jp/fks/>

